

一般演題一覧

番号	受付番号	発表者姓	発表者名	発表者所属	演題名	口頭発表	ポスター
第34回日本外来小児科学会年次集会実行委員会							
G-01	C000107	尾崎	貴視	第34回日本外来小児科学会年次集会実行委員会	2025年の夏は、香川で熱く語り、学び、リフレッシュ	－	－
感染症							
G-02	C000091	有瀧	健太郎	ありたき小児科	犬吠様咳嗽＝クループ症候群といってもよいのでしょうか？	9月7日	○
G-03	C000022	大坪	勇人	東京都立小児総合医療センター 感染症科・免疫科	OASCISを活用した多摩府中地域での抗菌薬適正使用に関する連携	9月7日	○
G-04	C000038	牟田	広実	いいつかこども診療所	Multiplex PCR法によるブライマリケアにおける生後3か月未満児の急性呼吸器感染症の病原体調査	－	○
G-05	C000113	鈴木	英太郎	鈴木小児科医院	外来における呼吸器感染症の病原体についてSpotFire®で解析を試みる	9月7日	○
G-06	C000130	中村	豊	ゆたかこどもクリニック	HPVワクチン接種後に副反応として報告されている症例の検討	9月7日	－
G-07	C000082	田川	正人	田川小児科	HPVワクチンの接種率向上のために ～学校などへの出張集団接種の取り組み～	9月7日	－
新型コロナ							
G-08	C000085	鎌田	真実	神戸こども初期急病センター	新型コロナウイルス感染症流行期における夜間休日の小児一次急病施設での取り組み	9月8日	－
G-09	C000017	嶋寺	伸一	しまでらメディカルクリニック	当院のドライブスルー診察における一考察	9月8日	－
G-10	C000134	村瀬	真紀	むらせ赤ちゃんこどもクリニック	小児科クリニックにおける新型コロナウイルス再感染調査- preliminary study	9月8日	－
G-11	C000042	杉浦	時雄	杉浦こどもクリニック	SARS-CoV2系統樹解析とアンケート調査	－	○
G-12	C000024	大谷	多加志	京都光華女子大学健康科学部心理学科	コロナ禍が乳幼児の発達に及ぼした影響：生後10か月、生後18か月時の発達評価からの検討	9月8日	－
G-13	C000123	武内	一	佛教大学社会福祉学部	子どもの権利条約にある権利に関する 子どもと共に行う研究 - COVID-19パンデミック下の国際比較 - （第2報）	9月8日	○
アレルギー							
G-14	C000014	宇野	浩史	エピスタうめはなこどもクリニック	小児科クリニックにおけるエコーを利用した卵黄FPIES診断の取り組み	－	－
G-15	C000110	幸道	直樹	こうどう小児科	卵黄による食物蛋白誘発胃腸炎Food protein-induced enterocolitis syndrome(FPIES)は小児科医にどこまで認知されているか？	9月7日	○
G-16	C000025	水谷	公美	藤田医科大学ばんだね病院小児科	食物アレルギー患者に対する「加工食品のアレルゲン含有量早見表」を用いた食事指導について	9月7日	－
G-17	C000099	伊藤	孝子	はしもと小児科	当院でのダニ舌下免疫療法の検討	9月7日	○
症例・治療							
G-18	C000028	杉本	圭相	近畿大学医学部小児科	自律神経症状を主訴に来院し、経過観察中に性別違和感が感知できた症例の検討	9月8日	－
G-19	C000100	飯泉	哲哉	いいずみファミリークリニック	起立性調節障害の診療で困っていませんか？ ～睡眠障害の視点からアリピプラゾールなどを使用してみて～	－	－
調査・研究							
G-20	C000043	井上	佳也	井上こどもクリニック	熱性けいれんが止まっていたら、ジアゼパム坐剤を使用しますか？ ～日本外来小児科学会会員対象実態調査～	9月8日	○
G-21	C000069	川口	将宏	名古屋大学大学院医学系研究科小児科 関連病院共同研究ワーキンググループ	臍ヘルニアに対する臍圧迫療法の有用性についての多施設共同ランダム化比較試験	9月8日	－
G-22	C000083	中山	裕介	中山小児科クリニック	中学生において睡眠休養感低下は身体症状や抑うつ状態と関連する	9月8日	○
G-23	C000079	池田	貴司	サンシャインスター薬局	パロキサビル錠とオセルタミビルDSの小児における有効性の比較	－	○

番号	受付番号	発表者姓	発表者名	発表者所属	演題名	口頭発表	ポスター
育児支援							
G-24	C000070	西本	忍	洛和会音羽病院	小児科外来におけるプライマリケアの必要性と外来看護師の取り組み	—	—
G-25	C000104	貞松	里穂	クリニックばんびいに	小児科クリニックが行う産後デイケアサービス事業 ～利用者のニーズと今後の課題～	—	—
G-26	C000026	伊藤	孝子	ぽよぽよクリニック	ハードル下げて“わくわく”伝える離乳食教室 ～小児科待合室で、できました！～	—	○
G-27	C000021	杉原	桂	ユアクリニック秋葉原	子育てのパワー	9月8日	—
G-28	C000086	松本	雪子	特定非営利活動法人小児救急医療サポートネットワーク	頭部打撲を主訴とする電話相談の現状 ～2022年度 大阪府 # 8000の報告～	9月7日	○
看護							
G-29	C000068	築瀬	順子	自治医科大学附属病院	小児に関わる外来看護師の倫理的課題に対する学習プログラムの取り組み	—	○
G-30	C000092	執行	美帆	九州大学大学院医学系学府保健学専攻	予防接種時における児の痛み対処行動を予測する行動分析	—	○
G-31	C000093	小峰	真菜	富山県立中央病院	小児科外来におけるプレパレーションの文献検討	9月7日	—
G-32	C000087	二星	淳吾	二星こどもクリニック	診療所でのプレパレーションにおける家族の協働にむけた取り組み	9月8日	—
G-33	C000040	葛西	茉莉聖	筑波大学看護科学学位プログラム	付き添いがある長期入院児のきょうだい支援の検討	—	○
保育・療育							
G-34	C000044	内田	創	カラムンの森こどもクリニック	小児科クリニックで診る神経発達症診療の実際	9月7日	—
G-35	C000127	鈴木	康夫	鈴木小児科医院	児童発達支援・放課後等デイサービス事業の開設について	9月8日	○
G-36	C000039	奈良	尚	訪問看護ステーションしん暇	多職種連携チームで不登校児を社会参加へつなぐ 一作業療法士の挑戦一	9月7日	—
G-37	C000125	中村	知夫	国立成育医療研究センター 総合診療部	世田谷区における行政と医療職とが協力して実施している医療的ケア児保育に対する支援の現状と課題	9月8日	—
G-38	C000020	石原	夢み	しまでらメディカルクリニック	民間病児保育の立ち上げ1年目の報告	—	—
教育							
G-39	C000080	鶴重	美春	富山大学医学部医学科	医学生が多様な経験を持つ方々との“つながり”から得たもの	9月7日	—
地域活動							
G-40	C000115	本原	裕美	東京ふれあい医療生活協同組合梶原診療所	コロナ渦をあけて、メディカルキッズ・子育て教室の再開へ	9月7日	○
G-41	C000013	浦上	勇也	株式会社 スター薬局	保険薬局における「こども向けイベント」を振り返って ～10年間の歩み～	—	○
外来診療におけるとりくみ							
G-42	C000088	廣恒	実加	ありたき小児科分院ぶんぶん	発達支援を中心に診療している小児科における、年齢ごとの受診理由の傾向について	—	—
G-43	C000035	中村	彩乃	岐阜県立看護大学 育成期看護学領域	子どもを対象としたA病院外来での保育士介入の現状と保育士の必要性	9月8日	—
G-44	C000103	大森	有紗	医療法人社団ナイズ	医療事務職種における入職年数・医療事務経験と業務所要時間について ～適切な人員配置にむけて～	9月8日	○